

令和2年度（2020年度） 事業実績報告書

1. 申請者の概要

申 請 者	団体名		和泉商工会議所	
	代表者職・氏名		会頭 山本 恭弘	
	所在地		〒594-1144 大阪府和泉市テクノステージ3丁目1番10号	
	担 当 者	職・氏名	中小企業相談所 課長 味谷 厚志	
		連 絡 先	T E L（直通）：	0725-53-0320
			F a x：	0725-53-5959
		E - m a i l：	miya@izumicci.jp	
①設立年月日		平成6年4月1日		
②職員数 （うち経営指導員数）		17名（経営指導員8名）（令和3年3月31日現在）		
③所管地域		和泉市		
④管内事業所数		5,887（平成28年経済センサス 参照）		
⑤管内小規模事業者数		4,238（平成28年経済センサス 参照）		
⑥会員数（組織率）		2,122（組織率：36.05%）（令和3年3月31日 現在）		
※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること				
<input type="checkbox"/> ⑦ 主な事業概要（定款記載事項等）				
①商工会議所としての意見の公表、国会、行政庁等に具申・建議、行政庁等の諮問への答申 ②商工業に関する相談・指導、情報収集・提供、調査研究、講習会又は講演会の開催、施設の設置・維持・運用 ③商品の品質又は数量、商工業者の事業の内容その他商工業に係る事項に関する証明、鑑定又は検査 ④輸出品の原産地証明 ⑤商工業に関する技術又は技能の普及又は検定 ⑥博覧会、見本市等の開催・あっせん ⑦商事取引に関する仲介又はあっせん、紛争に関するあっせん、調停又は仲裁 ⑧商工業者の信用調査、観光事業の改善発達 ⑨行政庁から委託を受けた事務 ⑩社会一般の福祉の増進に資する事業 ⑪国際親善の増進を図る事業 ⑫上記のほか、商工業者の委託を受けて当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む。）を処理し、その他商工会議所の目的を達成するために必要な事業				

(1) 事業の目標

小規模事業者の経営課題解決に向けて、「経営課題の抽出・把握・分析・提案・支援実施・フォローアップ」のPDCAサイクルを基本に、質の高い経営指導を目標として取り組み、本計画の進捗状況や成果等を毎年度検証し、次年度以降に反映させて実行していく。また地域活性化事業と経営相談支援事業との相乗効果も積極的に考え、セミナーや事業実施後のフォローアップを重点に置き、変化を注視していく。更に、BCP（事業継続計画）やSDGs（持続可能な開発目標）、経営発達支援計画など国や府、市と密に連携を取り、簡易策定シートの活用など時代に沿った事業を実施していく。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

〔経営相談支援事業〕

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、商業事業者においては、売上高の減少が顕著に見られ、製造業、建設業等のBtoB事業者に関しても、材料調達に支障が生じ、受注の減退等により減収減益に転じる企業が多く見られた為、企業存続に向けた資金繰り改善を中心に支援を実施した。またBCP（事業継続計画）の他、コロナ関連の緊急支援施策に関しても随時情報提供を行った。

〔専門相談支援事業〕

小規模事業者が直面する専門的な課題解決に向けて当所提携専門家（弁護士、中小企業診断士、司法書士、行政書士、社会保険労務士、税理士、弁理士）との連携により、経営指導員同席による三者面談を迅速に実施。

〔地域活性化事業〕

コロナ禍の状況を鑑み、「求人・求職マッチング事業」及び「（地独）大阪産業技術研究所利用促進事業」は、完全オンライン化に手法を変更し事業を実施。アフターフォロー、効果測定にも注力した。

(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

〔経営相談支援事業〕

今年度においては、コロナ禍の状況下において、直面する課題として、減収に対する解決策を検討提案し、資金調達、資金繰り支援を中心に経営の維持存続に繋げる事が出来た。また、各種支援金、助成金等の施策に関しても早期に情報提供を行い、周知及び適時活用を促す事ができた。

〔専門相談支援事業〕

本事業に関しても、コロナ禍の影響もあり、緊急性の高い相談等が大半を占め、大幅に相談件数は増加。相談事案に適合した提携専門家との三者面談を早期に実施した事により、迅速な課題解決に繋げる事ができた。

〔地域活性化事業〕

完全オンライン化に実施手法を変更したことにより、コロナ禍の状況においても、当初の事業計画に沿った実施内容とする事ができ、参加事業所からも高い満足度を得る事ができた。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

〔経営相談支援事業〕

本年度に関しては、大半がコロナ禍における経営維持及び改善に向けた支援に終始する事となり、緊急を要する経営課題の解決に向けてスピード感を重視した支援を展開。直面する経営課題の解決のみならず、AFTERコロナを見据えた経営基盤の立て直し及び強化を図るための中長期経営計画構築に向けての支援に一層注力していく事が必要。

〔専門相談支援事業〕

本事業においては、迅速対応により小規模事業者の支援ニーズに対応しているが、今後更なる事業効果を高めるため、支援後のアフターフォローをより強化していく。

〔地域活性化事業〕

完全オンライン化による事業実施により、多様な業種業態の事業所からの参加が実現できた一方で、社内ネットワークシステムが不完全のため参加を見送った事業所も相当数あった為、IT化推進に向けた支援にも注力していく必要がある。

(5) 次年度の取り組み

小規模事業者の多くが長引くコロナ禍の影響を大きく受けており、自己資本並びに収益基盤が脆弱化している状況下において、外部環境への対応と内部環境の改善及び経営基盤拡充を図ることを目的とする。小規模事業者の経営課題の解決に向けては、引き続き「経営課題の抽出・把握・分析・提案・支援実施・フォローアップ」のPDCAサイクルに沿った支援を更に強化し、個社支援及び面的支援を更に強化していく。

コロナ禍における経営手法に関しては、業種、業態、事業規模及び企業背景により様々であり、多様な支援手法が必要となるため、国、府、市、各種支援機関並びに専門家との連携により、適時情報提供と支援策の提案実施を迅速に推進していく。

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 和泉商工会議所

I 経営相談支援事業

支援のポイント・成果

本年度は、長期化する新型コロナウイルス感染症拡大の影響による小規模事業者の財務状況の悪化に迅速対応し、金融支援を中心に直面する資金繰りの改善に対する支援を実施。

また同時に、減収が想定される状況下において、利益率の悪化を最小限に抑制するための資金繰り管理や財務管理手法の支援にも注力。

小規模事業者においてWITHコロナ、AFTERコロナ時代を乗り切るために必要となる事業運営手法について、業種業態に応じた検討提案を実施し、現状打破のみならず将来を見据えた中期的な経営計画を明確化する重要性の理解を図った。

【支援の代表事例】32-02-11

不動産事業者において、令和2年春の緊急事態宣言下にて、販売予定物件の水回り等内装設備が調達できない事態に陥り、売買契約の延期を余儀なくされた。

それに伴い、同社の資金繰りが悪化し、以後の事業継続に影響を与えかねない事態となったが、急遽事業計画の変更及び向こう1年間の資金繰り計画の修正を支援し、且つ緊急融資の活用により急場を凌ぐ事ができた。

また、中期経営計画を明確化した事により、コロナ禍においても一定の収益確保が実現し経営の改善を図る事ができた。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	580	614	105.9%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	10	10	100.0%	5
金融支援（紹介型）	支援数	275	278	101.1%	5
金融支援（経営指導型）	支援数	65	66	101.5%	5
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	1	0	0.0%	3
資金繰り計画作成支援	事業所	10	9	90.0%	5
記帳支援	事業所	50	47	94.0%	5
労務支援	支援数	75	86	114.7%	5
人材育成計画作成支援	事業所	0	0		1
マーケティング力向上支援	事業所	2	1	50.0%	4
販路開拓支援	支援数	2	0	0.0%	3
事業計画作成支援	支援数	105	113	107.6%	5
創業支援	事業所	15	14	93.3%	5
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	5	0	0.0%	2
コスト削減計画作成支援	事業所	1	2	200.0%	5
財務分析支援	事業所	5	3	60.0%	4
5S支援	事業所	0	0		1
IT化支援	事業所	0	0		1
債権保全計画作成支援	事業所	0	0		1
事業承継支援	事業所	3	0	0.0%	2
災害時対応支援	事業所	0	0		1
フォローアップ支援	事業所	20	5	25.0%	3
結果報告	事業所	570	624	109.5%	5

II 専門相談支援事業

支援のポイント・成果

緊急性の高い専門的な相談事案に対して、当所提携専門家（弁護士、中小企業診断士、司法書士、行政書士、社会保険労務士、税理士、弁理士）との連携により事業を実施。経営指導員が調査分析した後、案件に適した専門家との三者面談を早期に実施し、迅速な対応により課題解決に導いた。

【具体的な支援内容】

法人設立等登記：8件、許認可等申請：13件、就業規則・定款：1件、法的整理：3件、補助金・助成金申請：35件、事業承継：4件、会計管理：8件、税務：19件、労働問題・労務：9件、民事・相続関係：6件、取引・契約関係：11件、マーケティング：3件、事業計画作成：10件、経営改善：3件

●支援日数：118日 ●支援企業数：102件 ●延べ支援件数：118件

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
専門相談支援事業（税務）	継続	支援日数	20	19	95.0%	5
専門相談支援事業（税務以外）	継続	支援日数	90	99	110.0%	5

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>【求人・求職マッチング事業】 大阪府労働環境課、和泉市と連携を図り、阪南地域労働ネットワーク事業として実施。 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、オンラインによる合同企業説明会に実施手法を変更。 完全オンライン化の利点を最大限に生かし、参加企業においては、新卒者、既卒者、中高年齢者及び障がい者に対して、自社の求める人材像や社風を広く効果的に周知する事ができ、人材確保に繋げるためのツールとして確立できた。</p> <p>【（地独）大阪産業技術研究所利用促進事業】 大阪府ものづくり支援課、（地独）大阪産業技術研究所と連携し、阪南7商工会議所の広域連携事業として事業を実施。 本事業においても、新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、実施手法を完全オンライン化（Zoomウェビナー）に変更。 ORISTの利用促進に繋げると共に小規模事業者の技術課題解決の機会を提供。また、コロナ時代における経済動向の把握と経営手法の習得及び新規取引先開拓を目的としたビジネスマッチングも実施した。</p>										
(1) 単独事業										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	求人・求職マッチング事業	40	31	77.5%	80.6	就職内定企業数	15	1	6.7%	4
(2) 広域事業（幹事業のみ）										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	(地独) 大阪産業技術研究所利用促進事業	260	243	93.5%	94.5	導入機器・施設見学実演を含む講習会によるORISTの利用企業数（ORISTの事業紹介を視聴することで、利用促進及び課題解決に繋がる機会の創出数）	12	27	225.0%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

和泉商工会議所

事業名		求人・求職マッチング事業							
想定する実施期間		24 年度～ 年度まで ※複数年度段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	日本の労働人口は1998年をピークに減少し続け、いまや65歳以上が人口に占める割合が4人に一人となり、超高年社会に突入している。その様な状況の中、「健康で意欲と能力がある限り年齢に関係なく働き続けたい」「障がいがあってもその能力と適正に応じた職に就くことにより、自立した生活を送りたい」と考えている全ての働く意欲のある人々が能力を発揮し、安心して働く事により安定した生活を送ることが出来る社会を目指す。合同就職面接会を開催することにより、中小企業の求める人材と働く意欲のある求職者のマッチングを行う事により企業の人材不足解消と雇用安定を図る。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内中小企業社 40社 若年者、中高年齢者、障がい者 等							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	①オンライン合同企業説明会 開催時期：令和2年11月28日(土) 開催場所：オンライン 求人企業数：31社 「新型コロナウイルス感染症」拡大防止対策として、オンラインによる合同企業説明会を開催した。求人企業の発掘においては商工会議所の広報やHP、SNS等による周知や経営指導員の巡回指導時において募集を行い、事業への参加を提案した。 企業の当日説明資料の作成・流れの説明・求職者の募集はシステム構築会社協力のもと行い、当日は1社約10分程度で時間割を組み求職者は希望する企業の時間が来たらシステムにログインし説明を聞いて頂いた。 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府労働環境課と連携を図り、大阪府による働く時の基本ルール等を説明して頂く時間を設け、説明して頂いた。						
		②広域連携							
	③市町村連携	市内事業所及び求職者に対する本事業の開催案内周知を実施。参加事業所の確保及び求職者の視聴に繋げる事ができた。							
	④相談相乗	本事業参加企業に対して、労務管理の適正化に向けた指導と各種雇用関連助成金に関する理解度向上が図られた。							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	40.0	総支援企業数(実績)	31.0	支援実績率	77.5%	満足度	80.6
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	本事業は、管内小規模事業者が直面する喫緊の経営課題である人材不足を解消すべく、「大阪府労働環境課」「和泉市」との連携により実施。求人募集企業に対しては、事前に本事業の開催趣旨の理解を図り、募集する職種の選定やオンラインによる会社説明の手法等について指導を行った。結果として、支援企業数は40社の目標に対して31社の実績、新型コロナウイルスの影響により求職者数は例年と比べ、350名の計画に対して582名の実績であった。また本事業の成果として、就職内定企業数は15社に対して1社の結果であった。 支援企業に対する本事業実施後の変化については、採用が実現した事業者は採用後の人材育成面や雇用関係助成金等の周知及び活用促進などにより職場環境の充実化に関しても提案指導を実施。また、採用に至らなかった事業者には、本事業を含む人材確保に向けた求人募集方法や周知方法等の再考提案を行った。							
		代表指標	就職内定企業数						
		数値目標	15	実績数値	1	目標達成度	6.7%		
	成果の代表事例	募集人数2名に対して1名の面接を行い、1名を採用することが出来た。企業側が求める経歴を持ち即戦力の人材採用を実現した事業所があった。今後の経営活動に向けて適した人材であり、企業としての将来性を高める成果を得る事が出来た。							
その他目標値の実績	目標値(計画)	350	目標値(実績)	582	目標達成度	166.3%			
	第1回オンライン合同就職説明会(求職者数) 582名								
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	新型コロナウイルス感染防止策として初の試みでオンラインによる就職説明会を行ったが、まだまだ認知度不足やオンラインの手法に慣れていないなどで参加を見送る企業もあり求人企業が少なめであった。次年度はシステム構築もしっかりして手法も確認できてきたことから企業への周知をしっかりと行い、求人企業数の増加を図っていく。求職者への周知PRについても広報やチラシ、HP等により積極的に行いさらなる本事業の周知拡大を図る必要がある。 参加企業においては自社PRが優秀な人材確保に繋がることを意識してもらい、周知の方法を支援する。採用後の職場定着に向けて労働関係の情報提供等で支援を図る。							

和泉商工会議所

事業名		(地独) 大阪産業技術研究所利用促進事業 (和泉ビジネス交流会)							
想定する実施期間		24 年度～ 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	(地独) 大阪産業技術研究所 (以下、ORIST) の有効な利用方法が分からない事業所やそもそものような支援をやっているか分かっていない事業所も少なからずある中で、本事業において、ORISTの事業内容・実施する支援サービスを広くPRし、多くの地域ものづくり企業にORISTを活用して頂き、企業が抱える技術的課題解決 (技術相談・依頼試験・装置使用・受託研究等) を目的としている。ORIST技術講習会では、担当職員によるORISTの試験研究機器等の技術講習会を開催し、機器・装置の仕様や性能などを理解いただき、今後の利用促進になるよう開催。展示・交流会では、参加企業からの要望を受け、出展・来場者との商談・交流の機会を促進するため、阪南7商工会議所の連携により更なるビジネスチャンスの拡大を図る。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	堺市、泉大津市、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、高石市、和泉市内等の中小・小規模事業者 トリヴェール和泉西部地区企業・取引企業 テクノステージ和泉企業・取引企業							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>「新型コロナウイルス感染症」拡大防止対策として、<u>完全オンライン化</u>に手法変更し事業実施。 事業実施日：令和3年1月18日</p> <p>【第1部】ORISTの事業紹介 動画コンテンツによりORISTの事業内容を紹介し、小規模事業者の技術的課題解決に向けた機会提供、今後の利用促進に繋げる取組みを行った。</p> <p>【第2部】特別講演会 開催テーマ：「コロナ禍におけるこれからの日本と世界の動き」 現状及び今後の経済動向の把握、コロナ禍における経営手法について理解を図った。</p> <p>【第3部】企業交流会 参加企業に適合したマッチング提案を行い、新規取引先の開拓に繋がる商談機会を提供した。</p> <p><事業手法 (①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果) の具体的な連携・効果を記載></p>							
		①府施策連携	オンライン化による事業実施に向けて計画立案から実施手法に至るまで、大阪府ものづくり支援課と連携を図り本事業を構築。						
		②広域連携	阪南7商工会議所の広域連携事業とすることにより、本事業の開催周知を強化し、広く面的支援を実施し、企業間マッチングにおいても効果拡大が図れた。						
	③市町村連携								
	④相談相乗	事業実施後の効果測定、アフターフォローを行い、今後の経営力向上に向けて個社支援を提案。							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績 (数値)	総支援企業数(計画)	260	総支援企業数(実績)	243	支援実績率	93.5%	満足度	94.5
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	本事業への参加により、ORISTの事業内容について理解を図る事ができ、直面する技術面における課題解決並びに更なる経営力向上に繋げるために重要な支援機関である旨の認識が高まった。ORISTを身近な存在として捉え、利用促進に繋がる好機とする事ができた。特別講演会においては、現状及び今後の経済情勢についての動向、また長期化が想定されるコロナ禍における経営手法や企業におけるリスク管理等の理解が図られた。企業交流会に関しては、業種業態を考慮し取引業の紹介を行い、商談機会の提供及び今後の営業ツールの構築に繋げる事ができた。							
		代表指標	導入機器・施設見学実演を含む講習会によるORISTの利用企業数 (ORISTの事業紹介を視聴することで、利用促進及び課題解決に繋がる機会の創出数)						
		数値目標	12	実績数値	27	目標達成度	225.0%		
	成果の代表事例	今回参加の製造事業者が、現状直面している技術的課題があり、本事業への参加を機に今後、ORISTに協力を得て、課題解決に向けた検討を本格的に開始していく予定である。							
その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今後もORISTの利用促進に繋げていくために、個社支援を絡めながら積極的に周知拡大を図っていく。本事業の参加企業や泉州地域ものづくり企業が、より一層ORISTを身近に感じて頂き、企業の課題解決の一つのツールとして活用してもらえよう継続的に支援していきたい。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	15	支援企業数(実績)	30	支援実績率	200.0%	満足度	81.0
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	今回参加の製造事業者が、現状直面している技術的課題があり、本事業への参加を機に今後、ORISTに協力を得て、課題解決に向けた検討を本格的に開始していく予定である。							
		指標	導入機器・施設見学実演を含む講習会によるORISTの利用企業数 (ORISTの事業紹介を視聴することで、利用促進及び課題解決に繋がる機会の創出)						
	数値目標	12	実績数値	27	目標達成度	225.0%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	200	支援企業数(実績)	201	支援実績率	100.5%	満足度	82.2
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	経済動向等、外部環境の変化に対応するための経営手法についての理解向上が図れた。							
		指標	ビジネスの情報収集による知識向上						
	数値目標	160	実績数値	164	目標達成度	102.5%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度③	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	45	支援企業数(実績)	46	支援実績率	102.2%	満足度	87.2
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	販路開拓に向けた企業マッチングの機会提供により、新規取引先開拓に繋がる営業ツールを構築できた。							
		指標	ビジネス交流会 商談件数						
	数値目標	120	実績数値	48	目標達成度	40.0%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				